

平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 安全と安心 心のまなびば

1 事業実施の成果

当 NPO 法人の目的とする事業の中で、交通安全教育研修・セミナー事業、及び交通安全の推進に係る調査・研究事業に注力した一年であった。

①交通安全教育研修・セミナー事業について

- ・交通教育セミナー「交通大学の開催」
- ・交通マナー教室
- ・高次脳機能障害者の移動支援に関する勉強会

21 回目を迎えた交通大学においては、「変革する安全教育を考える」をメインテーマとして、「子供の安全教育」及び「高次脳機能障害と自動車運転再開支援」にスポットをあてた。5名の講師による講義と約 110名の参加者との活発なディスカッションがおこなわれた。

「交通マナー教室」は、本年度も市立小学校 2 校において実施し、学校からの高い評価を受けている。開催にあたっては、名古屋在住の矢橋理事を中心に行っているが、地元スタッフでの開催運営が急務であり、スタッフ育成が課題である。

交通大学でテーマとして取り上げた、高次脳機能障害については「高次脳機能障害者の移動支援に関する勉強会」へ定期的に参加し情報交換の場としている。

②交通安全広報事業

- ・日本交通心理士会誌 2018, Vo. 9 掲載発表 「飲酒運転をなくすために交通心理士ができること」
- ・日本交通安全普及協会「交通安全教育」2019, No. 623 掲載発表 「小学生の身近な交通安全教育は家庭から」

③交通安全の推進に係る調査研究事業について

- ・高齢運転者安全対策研究
- ・安全安心街づくり
- ・飲酒実験
- ・研究発表

高齢運転者安全対策研究においては、研究会を立ち上げて 2 年が経過した。高齢者の免許返納を推奨するのではなく、いかに長く安全に運転するか、出来るかを考える中、研究会が作成した高齢者を対象としたアンケートを実施し、約 1900 部を集めた。分析作業を重ね、高齢者の事故抑止と安全対策に向けた方策を練っていく。アンケート調査と平行してタブレットを使用した「安全運転評価システム」を構築。交通安全や防災についてのコミュニケーションが図れるツールとしての活用を目指している。

安全安心街づくりにおいては、昨年度実施した町内(奥田本町)巡回聞き取り調査から見えた実態に則し、高齢者にスポットを当てた交通安全教室を実施した。更に、小学生の通学、小中学生の自転車にも焦点をあて、交通安全を浸透させていく活動を広めることを目指していく。

飲酒実験については、今年度は飲酒前と飲酒後の時間経過に伴う、ドライバーの人間特性変容に着目して実験を行った。一般市民の協力あつての飲酒実験であるが、飲酒が心身や運転に及ぼす影響を明らかにする実験とした。

最後に、各研究成果を以下の通り発表した。

1. 小学生の自転車利用における安全性 (第 81 回日本交通心理学会)
2. 小学生の自転車利用における安全性 (平成 29 年度自動車安全運転センター報告書)
3. アルコール摂取による生理と心理への影響 (第 81 回日本交通心理学会)

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
①交通安全教育研修、セミナー事業	交通安全教育セミナー「交通大学」開催	平成29年11月27日	ターミナルスクエア	10人	安全運転管理者、交通安全教育関係者、その他一般 110人	0
①交通安全教育研修、セミナー事業	交通安全教室	1. 平成29年10月3日 2. 平成30年1月20日 3. 平成30年3月1日	岡山市立清輝小学校 岡山市立岡南小学校	5人	清輝小学校4年生1クラス20人×2回 岡南小学校5年生2クラス40人×2クラス×1回	0
①交通安全教育研修、セミナー事業	高次脳機能障害者の移動支援勉強会への参加	随時	医療機関等	4人	リハビリ医療関係者累計600人	0
②交通安全広報事業	日本交通心理士会会誌2018, Vol. 9 掲載発表 「飲酒運転をなくすために交通心理士ができること」	平成29年8月発行	日本交通心理士会	2人	不特定多数	0
	日本交通安全普及協会「交通安全教育」2018, No. 623 掲載発表 「小学生の身近な交通安全教育は家庭から」	平成29年2月発行	日本交通安全普及協会	1人	不特定多数	0
③交通安全の推進に係る調査、研究事業	高齢運転者安全対策研究	平成29年4月～平成30年3月	安全と安心心のまなびば会議室	10人	一般市民 不特定多数	5,668,873
③交通安全の推進に係る調査、研究事業	安全調査 安全安心街づくり	平成29年4月～平成30年3月	安全と安心心のまなびば	10人	奥田本町町内市民 約250人	366,393
③交通安全の推進に係る調査、研究事業	第12回飲酒実験	平成29年12月9日	安全と安心心のまなびば	10人	実験協力者 一般市民30人	0

③交通安全の推進に係る調査、研究事業	第81回日本交通心理学会研究発表 1.小学生の自転車利用における安全性 2.アルコール摂取による生理と心理への影響	平成29年6月3・4日	実践女子大学渋谷キャンパス	5人	日本交通心理学会会員 約100人	0
③交通安全の推進に係る調査、研究事業	自転車問題プロジェクト 平成28年度研究助成事業・研究発表	平成29年4月28日	自動車安全運転センター	2人	不特定多数	0
④交通問題カウンセリング事業	交通行政関係及び事業所からの要請に随時対応	随時	安全と安心心のまなびば	2人	担当行政責任者及び事業主	0